

高校生スタディツアー in カンボジア募集要項

趣旨： 日本ユネスコ協会連盟は次世代を担う青年の育成を目的として毎年スタディツアーを実施しています。2010 年度は、カンボジアにおける「ユネスコ世界寺子屋運動」の実施地域や世界遺産などを訪問し、現地の様子を含め「世界寺子屋運動」の現状と同運動に対する理解を深めることを目的としています。参加後は、地域のユネスコ協会をはじめとして学校などで「世界寺子屋運動」の広報活動に積極的に参加していただきます。

実施期間： 2011 年 3 月 26 日（土）～4 月 2 日（土）（予定）
うち 2 日（3 月 26・27）は成田で事前研修会）

訪問予定地： カンボジア

- シェムリアップ（寺子屋視察、青年との交流など）
- アンコール遺跡（世界遺産視察）

募集人員： 高校生 8 名（予定）

応募条件：

1. 応募時、高校生 1 年生または 2 年生であること
2. ユネスコ協会(ユネスコクラブ)に所属していること
3. 所属するユネスコ協会（ユネスコクラブ）の推薦を得ること（推薦欄に記入）
4. 心身ともに健康であること
5. 成田での事前研修（2011 年 3 月 26 日・27 日）に参加できること
6. ツアーの経験をユネスコ活動に長期的に活かす意欲があること。また、帰国後、地元のユネスコ協会の活動や、日本ユネスコ協会連盟の主催事業等に積極的に参加する意志があること。

応募方法：

1. 必要書類を（社）日本ユネスコ協会連盟に送付
 - 1) ・ 参加希望者による 6 項目
 - ・ 課題作文①：A4 で 1 枚（1300 字程度 MS 明朝 10.5）
（テーマ：「私のユネスコ活動計画」）
 - 2) ユネスコ協会（ユネスコクラブ）担当者（教員）による参加希望者のスタディツアー後の（地元ユ協・ユネスコクラブにおける）具体的な活動計画②：A4 で 1 枚
 - 3) 参加申込書（用紙 A 使用してください）
 - 4) ユネスコ協会代表者作成の推薦状（用紙 B 使用してください）上記 4 点の書類で正式応募となります。

2. 応募申込金 2,000 円の振込み

振込先

<郵便振替>

口座名義：(社) 日本ユネスコ協会連盟

口座番号：00100 - 5 - 47320

郵便振替用紙の通信欄に「高校生スタディツアー in カンボジア応募申込金」と必ずご記入ください。一度納入された応募申込金の返金はできません。11 月 15 日 (月) までにお振込みください。

応募書類送付先：〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-3-1 朝日生命恵比寿ビル 12 階
(社)日本ユネスコ協会連盟 教育文化事業部 高校生スタディツアー係

応募締切： 2010 年 11 月 15 日 (月)【必着】

※応募書類は郵送のみで受付いたします。

選考方法： 書類選考 (合否通知は 2010 年 12 月上旬予定)

事前研修： 合格者は、成田で行われます直前研修(2011 年 3 月 26 および 27 日)に参加していただきます。なお、事前研修参加に関わる宿泊費、交通費は日本ユネスコ協会連盟が負担いたします。

参加費： 50,000 円

合格決定後、お振込みください。

※渡航時の自宅⇄空港間の交通費は、往復 30,000 円以上の参加者に対して超過した分の実費を 20,000 円を限度として補助いたします。

※パスポート取得に関わる費用は自己負担となります。

参加後について：ツアー終了後、①報告書の作成 (和文) と、

②各ユネスコ協会内および学校等で報告をしていただきます。

※ 本募集概要は、各地ユネスコ協会の他、機関紙ユネスコ 11 月号、当連盟ホームページ、全国的青年連絡組織 HP および当協会連盟が把握しうる高校ユネスコクラブに情報提供をしています。

問合せ先： (社) 日本ユネスコ協会連盟事務局 高校生スタディツアー担当
Tel: 03-5424-1121 Fax : 03-5424-1126

★2010 年度高校生スタディツアーin カンボジア 募集要項
 <2010 年 11 月 15 日(月)必着>

年 月 日現在

社団法人日本ユネスコ協会連盟事務局 行

高校生スタディツアー in カンボジア 参加申込書

[質問項目]

- ①過去に旅券(パスポート)を取得されたことがありますか? はい ・ いいえ
- ②現在、2011年3月末から6ヵ月以上残存期間のある旅券(パスポート)をお持ちですか?
 はい ・ いいえ

ふりがな			旧姓		性別	男・女	年齢	才
氏名								
生年月日	西暦 年 月 日				出生地			
ふりがな					TEL: () —			
現住所	〒				FAX: () —			
E-mail								
所属ユ協								
ふりがな								
学校名								
学年	年							
電話番号	() —			FAX 番号	() —			
ふりがな								
学校住所	〒							
渡航中の 国内連絡先	住所	〒						
	氏名		続柄		電話番号	() —		

※現在有効なパスポートをお持ちの方は、その番号と有効期間をご記入ください。なお、
 お持ちでない方は空欄のままで結構です。

旅 券	番号						
	有効期間	年	月	日	～	年	月

【6 項目について】

このプログラムへの参加希望者は課題作文「私のユネスコ活動計画」とは別に、以下の 6 項目についても書いて、提出してください。(文字数は自由です)

- ① このプログラムへの参加希望理由
- ② 過去のユネスコ活動参加歴
- ③ その他国際理解・国際交流・ボランティア活動経験
- ④ 学校などの課外活動で、リーダーシップをとった経験があれば書いて下さい。
- ⑤ 趣味や特技は何ですか？(なぜその活動に興味を持つようになったのか、どのくらいの時間をそれにあてているのか等)記して下さい。
- ⑥ 将来の夢について述べて下さい。

【アンケート】

- ・ 過去途上国を訪問するスタディツアーに参加したことがありますか
はい(国名: 訪問年: 実施団体:)
いいえ
- ・ 海外渡航経験 回(国名:)
- ・ 留学経験 (国名: 期間: ~)
- ・ 語学能力 語(資格: 取得年 年)

私(氏名: ユネスコ協会(ユネスコラブ)名:)

は下記書類と共にスタディツアーに申請します。(必要書類が全て整っているか✓を付けて下さい)

- () 6 項目
- () アンケート
- () 課題作文①:「わたしのユネスコ活動計画」A4 で 1 枚(1300 字程度)
- () 活動計画②:「参加希望者のスタディツアー後の具体的な活動計画」 A4 で 1 枚(1000 字以内)
- () 参加申込書 (用紙A)
- () 所属ユネスコ協会代表者作成の推薦状 (用紙B)
- () 応募申込金 2,000 円の振込み

上記申請者のスタディツアー応募を承認します。

保護者氏名 () 印

ユネスコ協会・学校推薦欄

氏名 _____

上記のものをスタディツアー参加者として推薦いたします。

(該当するものに✓印をおつけください。 会員 非会員)

年 月 日

協会(学校)名 _____

代表者名 _____

印

* 推薦理由

ユネスコ協会(ユネスコクラブ)の活動でリーダーシップをとった経験等あればあわせて記載をお願いします。

<訪問先 カンボジアでの世界寺子屋運動の歩み(1994 年～2010 年)>

1994 年より、日本ユネスコ協会連盟では識字教育を中心とした教育支援活動をカンボジアで実施してきました。主に農村部などで暮らす人々の生活向上を目的に、シェムリアップ州とバットアンバン州の2州で識字クラス、技術訓練クラスなどを実施し、多くの人が学ぶ機会を得ると共に、収入向上が達成されました。

1994 年からの経験をふまえ、2006 年には日本ユネスコ協会連盟カンボジア事務所を設立。寺子屋(コミュニティーラーニングセンター:CLC)を設立し、識字教育支援を行うとともに、政府のモデルとなる寺子屋の設立と運営を実施しています。

プロジェクト	アンコール寺子屋プロジェクト (寺子屋を核とする識字教育と収入向上活動及びコミュニティ強化)
実施期間	2006 年 4 月～
団体名	日本ユネスコ協会連盟カンボジア事務所 教育省 シェムリアップ州教育局
実施地	カンボジア王国、シェムリアップ州 9 地域
対象者	学校に通えない子どもたちと成人非識字者、州及び地区の行政官や教育担当官
目的	<ul style="list-style-type: none"> ■ カンボジア王国シェムリアップ州の 9 地域に寺子屋・コミュニティ学習センター (CLC)を普及する。 ■ 学校に通えなかった大人や学校に通えない子どもを対象にした識字教育と技術訓練を含むノンフォーマル教育を実施し、センターを活用した教育活動やコミュニティ開発活動を実施する。 ■ 支援終了後も地元の人びとの手により持続的にセンターが管理、運営されるためにネットワーク構築並びに人材育成を行う。 ■ 世界寺子屋運動を応援する日本の人々が現地を訪問し、寺子屋を視察すると共にカンボジアの人々と交流することによって相互学習の機会を増やす。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 寺子屋の設置と運営 ■ 識字教育(主に成人を対象) ■ 技術訓練(ホテイアオイ製品・籐製品の生産、クメール伝統音楽、きのこ栽培、養豚・養鶏トレーニング) ■ 図書館の設立・運営 ■ 人材育成(寺子屋運営委員、州・地区・村レベルの行政官など) ■ 生活向上プログラム(保健衛生、HIV/AIDS、農業技術指導など) ■ 文化復興プログラム(クメール伝統音楽、舞踏、仏教祭典など) ■ 人びとの集う場の形成(漁業組合の会合や研修、お祭など) ■ 国際相互理解活動(スタディツアー参加者との交流など) ■ 寺子屋の運営に関する教材・副教材の作成 世界遺産の啓発のための教材作成